

教育実習生との思い出

おはようございます。ここ数日、記録的な暑さが続いています。まだ6月だというのに、最高気温が40度以上を記録した町もありました。この暑さは異常です。一人一人が暑さ対策をしっかりと行っていきましょう。こまめな水分補給をこころがけ、体育や外で遊ぶ時はマスクを外し、少しでも体調がおかしい時はゆっくり休みましょう。

さて、先週の金曜日で二人の教育実習が終わりました。このお二人には特に3年生と5年生を中心に実習をしてもらいました。また、6年生の移動教室にも一緒にいていただきました。実習期間はわずか3週間でしたが、皆さんは勉強を教えていただいただけでなく、休み時間もたくさん遊んでもらって、多くの思い出をつくっていただいたことと思います。お二人には、この後ご挨拶をしていただきます。しっかり聞いてください。

ところで、去年の学校便りでも紹介させていただきましたが、教育実習というと、私には忘れられない学生さんのと出会いがあります。今日は少しその話をしたいと思います。

そのクラスには、なかなか授業に集中できない子、(Aさん)がいました。そんなAさんの学級に実習生(Bさん)がやってきました。明るく元気で、笑顔の素敵なその若者は、すぐにクラスの子どもたちの心を捉えてしまいました。彼は、なかなかの読書家でもあり、物知りで説明も丁寧で上手でした。数週間の実習は瞬く間に終わり、彼は大学へ帰って行きました。彼が去って、Aさんに大きな変化が起きました。宿題を欠かさずやってくるようになったのです。授業の始まりには教科書、ノートがしっかり準備されるようになり、ノートも頑張って取るようになりました。自分からすすんで授業に取り組めるようになると、勉強が楽しくなってきたようで、発言や質問も活発になりました。「頑張っていますね!」「勉強が楽しそうですね!」と声をかけると、思いもかけない言葉がAさんから。「ぼく、大学に行きたいんだ!」「お母さんに、大学に行きたいといったら、『今のような勉強態度では無理だ』と言われてしまいました。でもぼく、B先生のようになりたいんだ。一生懸命頑張れば、ぼくもB先生の大学に入れるよね。」と言ったのです。

今回のお二人の実習生の姿を見ていて、私はこのエピソードを懐かしく思い出しました。大らかな先生との出会いから、勉強にやる気が出て、これまでよりもっと学ぶことが楽しくなるという経験は、私自身もたくさんあります。私は、五小の先生方は、子どもたちにとって安心とあこがれの存在であってほしいと思っています。今週も、どの学級も、先生と子どもたちが、お互い尊敬しあって楽しく学びをすすめていって欲しいと思います。

これで先生の話は終わります。続いて実習生のお二人にご挨拶をいただきたいと思います。